

重点対策外来種 **オオブタクサ**

を見かけたらご報告ください。

※ ただちに除草する訳ではありません。



**この植物を植えたり、
広げないようにご協力ください。**

オオブタクサは、国外から入り込んだ外来植物です。繁殖力がとても強いいため、環境省により「生態系に甚大な影響がある外来植物」に指定されています。市では、あきる野市本来の自然の豊かさ（生物多様性）を守るために、市民の皆様に応じたご協力をお願いします。

- ① 「どこに生えているか」をご連絡ください。
- ② ご自宅に生えていたら「除草」してください。

<イメージ>



繁殖して、
大群落を作ります



花粉症の原因
になることも !!

オオブタクサを見かけた場合は、右の二次元コードからご報告ください。

■ 電話連絡先 / あきる野市 環境政策課 環境政策係 ■

042-595-1110 (直通/平日 8:30~17:15)



オオブタクサの見分け方



8～9月頃に、穂状の黄色い花をつける。花後に、種が付く。



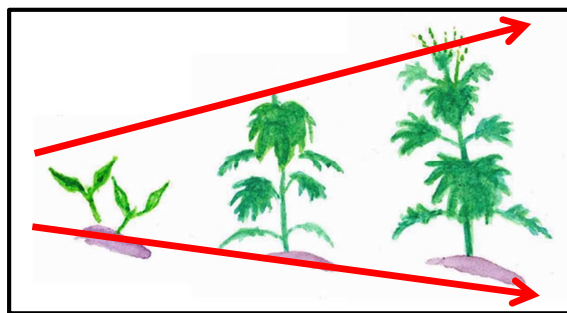
葉は、掌状に3～7裂し、クワの葉に似る。毛があり、ざらざらしている。(別名クワモドキ)



河原によく群生し、大きくなっても倒れず、直立した姿が目立つ。



葉は、2枚ずつ向き合う。芽生えの頃は、切れ込みがない。



5月頃に芽生え、夏にかけて大きくなり、秋には高さ2m以上に達する。

オオブタクサの除草方法

オオブタクサは、種で増える一年草ですが、夏季は再生力が強いので、刈ってもまた伸びて花を咲かせます。また、生長するととても大きくなり、除草がしづらくなります。そのため、「根ごと引き抜くこと」と、「できるだけ小さいうちに除草すること」が効果的です。



5～6月頃



7月頃



8～9月頃

大人の背の高さを越すことも!!

花が咲いた後に除草する際は、種がこぼれないようにすぐに袋に入れて、通常の可燃ごみと一緒に捨ててください。